

法学部専任教員 2018年度研究業績

石田 若菜

【学術論文】

「(同性婚カップルの出生証明書) Pavan v. Smith, 137・S. (t. 2075 (2017) 一匿名の精子ドナーを通じて出産した同性婚カップルに対して出生証明書への両親の名前の記載を認めないアーカンソー州法の規定をObergefell判決に基づき違憲とした事例) アメリカ法2018-1 [2018-1], 97-101頁, 2018年12月

【学会報告その他】

「法文上「性別」概念の可能性—1964年公民法第7編における「性別に基づく差別」の解釈」中央大学公法研究会, 2018年3月

【現在の研究テーマ】

性的指向／性自認に基づく差別, 婚姻／生殖の権利

井上 久士

【学術論文】

「延安時期の雑誌『解放』総目録と解題(2)」『比較法文化』第23号3月

【研究テーマ】

1930～40年代の中国政治の動態

海老澤 豊

【学術論文】

「パーネルの『蛙と鼠の戦』』『駿河台大学論叢』第51号(2018年7月)

「アディソンの『ピグミーと鶴の戦』』『駿河台大学論叢』第57号(2018年12月)

【研究テーマ】

18世紀英文学

王子田 誠

【共著】

スタンダード商法Ⅲ (法律文化社2019年)

【論文】

「米国におけるESG情報の不実開示に関する民事責任について」『早稲田法学』第94巻第3号2019年3月

【研究テーマ】

不実開示に関する民事責任など

大澤 傑

【学術論文】

「個人支配体制の定義に関する一試論—体制変動に注目して—」

『コスモポリス』13号, 85-94頁, 2019年3月

「個人支配体制の政党と体制崩壊—フィリピンとインドネシアの比較研究—」『防衛大学紀要社会科学分冊』118号 1-36頁, 2019年3月

【学会報告】

「個人支配体制の崩壊と脆弱性—ニカラグアとパラグアイの比較から—」ラテン・アメリカ政経学会第55回全国大会, 2018年12月2日。

「権力移行期における軍事戦力の転換—『攻勢戦略』から『攻守一体戦略』へ—」日本台湾学会第20回学術大会, 2018年5月26日

【研究テーマ】

民主主義と安全保障

上河内 千香子

【報告等】

「継続的保証契約 (根保証) の終了」(法律行為研究会報告2018/7/14 明治大学)

「継続的保証の終了」(法律行為研究会報告2019/3/9 明治大学)

【研究テーマ】

継続的保証の終了

貸金債権の支払督促による保証債務の消滅時効の中継

草地 未紀

【研究テーマ】

高齢消費者被害に関する公私協働型救済ネットワークの構築について

熊田 俊郎

【学会発表】

「中国の同郷会館の史的展開」2018年10月21日 日本都市学会第65回大会（九州産業大学）

【研究テーマ】

都市の総合的研究, 中国社会の研究, 社会学理論の研究

清水 知佳

【論文】

「原子力安全協定の運用実態にみる地方自治体の役割」『山梨学院大学法学論集』第8巻（2018年7月）

【研究テーマ】

原子力行政における地方分権

竹内 健互

【学術論文】

「故意の意的要素とその理解をめぐって」『駿河台法学』第32巻第1号, 2018年9月。

【研究テーマ】

教唆犯論, 表出的刑罰論, 刑事事実認定論

千草 孝雄

【著書】

池田美智代編『地方選挙と政治』（2018年7月 志學社）（共著）

【研究テーマ】

アメリカの行政史

長谷川 裕寿

【研究テーマ】

応答責任と修復責任, 刑法における情操, 刑事責任と物語り責任, 時間論

林田 光弘

【研究テーマ】

取得時効制度における占有の意義

福田 二郎

【学術論文】

「小さな家シリーズ」: 近代資本主義の始まり

2018年7月『駿河台大学論叢』第56号, p.p. 27-37.

【研究テーマ】

英米文学

松平 光徳

【研究テーマ】

知的財産法の歴史と現代的課題

宮下 摩維子

【学会報告等翻訳】

「コミュニティの法律サービスを担う弁護士の早期独立支援—弁護士養成と法へのアクセスモデル」

「臨床法学セミナー第13巻」(2018年12月)

【研究テーマ】

仲裁判断の既判力理論大学における法専門職教育の英米比較